11.25 土に聴く ―震災後の「東北」農業の課題

市民団体である「仙台・羅須地人協会」は、6 年前の「3.11 東日本大震災」以来、「暮らし方」「働き方」「生き方」を皆で話し合い、見直すといういわゆる「自由学校」としての活動を行ってきました。また岩手が生んだ詩人・宮沢賢治が 1926 年に創設した私塾「羅須地人協会」は「農民芸術学校」としても知られていますが、わたしたちも、その宮沢賢治の志を念頭に、二度にわたり公開イベント「農民芸術祭」を実施して参りました。これらの活動を踏まえて、「農民芸術」の本儀に焦点をあてて、「農業のこれから」を議論する公開シンポジウムを開催いたします。

○日　時　**2017 年 11 月 25 日（土）　13 時 30 分～16 時（開場 13 時）**
○会　場　**東北学院大学　土樋キャンパス「ホーイ記念館」**地下　多目的ホール
〒980-8511　仙台市青葉区土樋 1-3-1　　地下鉄南北線「五橋駅」出口南1

○プログラム
開会挨拶　**大内秀明**（仙台・羅須地人協会代表、東北大学名誉教授）
問題提起　「農業構造改革という課題」**工藤昭彦**（東北大学名誉教授）
パネルディスカッション
パネリスト　**工藤昭彦**（東北大学名誉教授）
遠藤保雄（仙台大学シニア上級研究員・元国連食糧農業機関日本事務所長）
後藤利雄（加美よつば農協営農販売部部長）
大越健治（みやぎ生協代表理事・専務理事）
司会　**半田正樹**（東北学院大学教授）
○主　催　**仙台・羅須地人協会**
○後　援　河北新報社、JA 宮城中央会、宮城県生協連、みやぎ生協、宮城県森連、宮城県漁協、日専連仙台、宮城県農業信用基金協会、NPO ワーカーズコープ、生活協同組合あいコープみやぎ
○入場料　無料。当日、直接会場にお越しください。　入場定員、200 名
○問合せ　仙台・羅須地人協会　　ホームページ　http://rasuchijin.jpn.org
仙台市青葉区上杉 1-6-10　仙台北辰ビル 4 階「復興協同センター・仙台」内
電話・FAX　022-797-0162　　メール　s-rasuchijin@aqua.ocn.ne.jp